

**商学部における特色ある学部教育の補助
「学部授業への授業特別協力者(ゲストスピーカー)依頼」報告書**

テーマ : コンテンツビジネスにおける競争と企業成長

科目名 : 経営戦略論

担当教員 : 羽田 尚子

実施日 : 2025年7月14日(月) 時限 : 3 時限目 実施教室 : 8305 教室

実施趣旨（目的）

成長市場であるコンテンツビジネス業界では、新規創業の新興企業、多角化を図る既存企業が参入し、競争している。既存企業（博報堂）からスピンオフの形で創業し、東証への上場、海外進出、多角化と企業を育て、成長させた経験をお話いただく。具体的には、成長産業における市場構造、競争を優位に運ぶための企業の強みについて、コンテンツビジネスを事例にお話いただき、講義内容（事業戦略の基礎）への理解を深める。

実施結果

1999年に創業した株式会社ボルテージの創業者である東さんに講義をご担当いただいた。（株）ボルテージは映像・音声・音楽ソフト、インターネットコンテンツ等の企画、制作、販売などを行う会社で、昨今はコミックアプリの分野へ事業を多角化している。初期は携帯電話のi-mode向けの音源や映像コンテンツを提供。その後スマートフォンが周流になり、アプリゲームやアプリの提供をしている。ターゲットは女性、自社オリジナルコンテンツの提供を強味としている（売上構成比の80%）。基本的に単独でサービスの開発・提供をしているが、他企業と共同で提供することもある。近年はファンダム（アプリ以外にファンミーティング、舞台、2.5次元アイドルなどユーザーさんが楽しむ補完的サービス）と融合したコンテンツを提供し、優位性の持続を画策している。新規事業（男性向けゲーム）は、youtubeなどの他チャンネルを活用し、ユーザー動向を探った上で本格的な事業展開を検討している。コミックコンテンツについても、自社ゲームのオリジナルコンテンツのコミック版を提供し事業ポートフォリオを拡大している。講義では、多角化の合理性（シナジーの創出）を説いたが、実際にはシナジーを創出することは容易ではない。実務的な経験をお話を伺うことで、授業内容を実際のビジネスと結びつけて考える力を補完できた。

